

## 丹後織物ルネッサンス事業により展示会を開催しました

丹後織物ルネッサンス事業では、新たな丹後織物のブランドづくりと流通促進を図るため、和装・洋装の各グループに分かれた参加企業がデザイナー・流通業者とのコラボレーションによる企画から商品開発までを行うための事業を実施しており、その取組の一環として展示会を開催しました。

洋装開発グループの一つは、10月23日～28日の6日間にわたり「日本の技 Ⅲ 丹後シルク展」を神戸市で開催し、「日常にこそ上質を」をテーマとして、マフラー・ストールにスポットをあて、ファッションとして注目度が高く気軽に取り入れやすいシルク製品を紹介しました。期間中には220名を超える方々が来場され、参加企業の関係者による「ミニ・コーディネートショー」を開催するなど、ひとつひとつのものづくりに気持ちを込めた製品を提案することができました。

また、和装開発グループの一つは、11月11日～14日の4日間にわたり「夢そしあるキモノ展」を京都市で開催し、「和が道を行く」をテーマとして、織物の素材自身を活かし現代の生活にあった和装の提案をコンセプトに、機業9社の制作した着尺と帯など合計30点余りを紹介しました。産地のオリジナル技術である防染糸を使用した「しらいと織り」を中心に、本漆糸・金銀糸など特色ある糸使いとともに、シンプルでモダンなテキスタイルデザインは、室町の流通関連業者や染色加工に携わる関係者から高い評価を得ることができました。

丹後織物ルネッサンス事業では、その他にも全国各地で独自の展示会・販売会を開催するなどして、丹後シルクの魅力を全国に発信し、更なる販路拡大・開拓に向けた取組を行っています。



「日本の技 Ⅲ 丹後シルク展」



「夢そしあるキモノ展」

## 京都府織物・機械金属振興センター試作品が中小企業庁長官賞を受賞しました

平成20年度(第46回)全国繊維技術交流プラザが10月7日～8日に岐阜県で開催されました(主催:全国繊維工業技術協会、財団法人日本産業技術振興協会)。

この技術交流プラザは、全国の繊維関連の公設試験研究機関が試作品や研究成果を発表し、その成果を広く中小企業に普及して事業化を図るとともに、各機関の技術力向上や職員の資質の向上を図ることを目的に毎年開催され、今年も作品展、デザイン展及び研究成果発表会が行われました。

今回、展示出品された試作品の中から、中小企業庁長官賞、産業技術環境局長賞及び優秀賞8点が授与され、当センターから出品した「クリスタルシルク ジャカード」が最も評価の高い作品として中小企業庁長官賞を受賞しました。

受賞した「クリスタルシルク ジャカード」は、平成19年度に開発に取り組んだハイドラフト生糸を用いた織物であり、従来の強撚糸織物にはなかった凹凸と光沢を持ち、製品化・実用化に期待ができると評価されました。



中小企業庁長官賞を受賞した「クリスタルシルク ジャカード」



当センターが出品した作品

【お問い合わせ先】

京都府織物・機械金属振興センター  
企画連携課

TEL:0772-62-7401 FAX:0772-62-5240

E-mail:info@silk.pref.kyoto.jp